

ねりまつうしん

ねんあきごう
2025年秋号

た げん ご じょうほう し えんいん えいごたんとう
多言語 情報支援員(英語担当)

たかはら すすむ
高原 進



にほん ゆうめい あきまつ 日本の有名な秋祭り

にほん あき くうき す き も よ てんき きおん たの きせつ あきまつ むかし つづ いべんと
日本の秋は空気が澄んでいて気持ち良い天気や気温を楽しめる季節です。秋祭りは昔から続くイベントで、

しゅうかく かみさま かんしゃ おも こ おお ぜんこくかくち おこな ちいき こせいてき でんとう ぶんか あじ
収穫を神様に感謝する思いが込められたものが多く、全国各地で行われます。地域の個性的な伝統や文化を味

わうことができ、地域の人々や観光客に親しまれています。そこで今回、そんな季節を感じられる全国の秋祭りを

しょうかい がつ きしわだ まつ がつ ながさき きょうと じだいまつり がつ とうきょう とり いち
紹介します。9月の岸和田だんじり祭り、10月の長崎くんち、そして京都の時代祭、11月の東京の酉の市です。そ

れぞれの祭りから日本の秋を楽しんでください。



ねじりはちまきに はっぴ姿

きしわだ まつ え どじだい ねん ねん ちゅうき ねん ごこくほうじょう ねが はじ おおさか
「岸和田だんじり祭り」は、江戸時代(1603年～1868年)中期、1703年、五穀豊穰を願って始まったとされ、大阪

きしわだし ねんいじょう つづ あき まつ ねん がつ にち じゅうつか おこな おも とん
岸和田市で 300年以上、続いてきた秋の祭りです。2025年は9月13日と14日に行われました。重さ4トンもあるだ

んじりを「ねじりはちまき」に「はっぴ姿」の若い人たちが元気よく引っぱって町の中を走ります。そのだんじりの上(

ちじょうやく めーとる りょうて も おど だいくがた ちゅうもく と あ からだ む か
地上約4 m)で両手に「うちわ」を持って踊る大工方をみんなが注目します。跳び上がって体の向きを変えたり、

りょうて ひろ かたあし た ひ こうきの み こうさてん ちょっかく ま
両手を広げ片足で立つ「飛行機乗り」はぜひ見てほしいです。だんじりが交差点を直角に曲がる「やりまわし」や

しゃりん すばや かいてん わざ も あ
車輪を、きしませながら素早くだんじりを回転させる技にいちばん盛り上がります。

【だんじり】まつ まち なか ひ ある き つく おお くるま ちょうこく こま
お祭りのときに町の中を引いて歩く、木で作られた、大きくてきれいな車のこと。彫刻が細かくとても

こうか
豪華。

【五穀豊穡】お米や麦などの作物がたくさん育って、みんなが食べ物に困らないように願うこと。

【大工方】だんじり祭りでだんじりの上に乗って、太鼓をたたいたり、みんなに合図を出したり、とても大切な役割をする人たちのこと。昔は、だんじりを作る大工さんが乗っていたことから、このように呼ぶようになった。

長崎くんちは、長崎の氏神「諏訪神社」の秋祭りで、毎年10月7日から3日間、町の人々が協力して行う大きな祭

りです。1634年に、二人の女性が神様の前で「小舞」という感謝の気持ちを込めて踊った踊りが長崎くんちの始まり

とされています。くんちの言葉は、旧暦9月9日に長生きを祝う中国の風習が伝わり、9日を「くんち」と読み、祭り

の日としたとされています。日本の重要無形民俗文化財とされており、まるで外国にいるような気分になる出し

物が特徴です。ポルトガルやオランダなど外国文化の影響を受けた「奉納踊」は、龍が美しく踊る「龍踊」や傘鉾と

呼ばれる豪華な飾りをつけた多くの人が歩き、とても力強く心に残ります。その年に「奉納踊」を見せる町が決まっ

ていて「踊町」と言います。現在、長崎市内には合計58町があり7組に分かれています。7年で一回りするので、

長崎くんちの踊りを全部観るには7年間かかります。



【氏神】自分が住んでいる場所を守ってくれる神さまのこと。

【旧暦】現在のカレンダー（新暦）は「太陽の動き」で作られているが、「月の動き」で作られていたカレンダーのこと。

【重要無形民俗文化財】日本の大切な昔からの行事や習慣を、国が守ろうとしているもの。

【奉納踊】神さまに「ありがとう」や「お願いします」の気持ちをこめて、踊りを見せること。

【傘鉾】お祭りで使う、大きな傘の形をした飾り物。神さまを迎えるための目印や、道を清めるために使われる。

時代祭は、10月22日に行われます。京都が首都になって1100年を記念するために始まりました。京都で

有名な三つの祭りのうちのひとつで、歴史を感じることができます。約2000名の人々が、昔の服や道具を身に付けて

きろめーとる ギョーレツ つく きょうと まち ある ギョーレツ へいあんじだい ねん ねん めいじじだい ねん
2 km の行列を作って、京都の町を歩きます。行列は、平安時代(794年～1185年)から明治時代(1868年～

ねん じだい ひと で はな おだのぶなが むらさきしきぶ にほん れきし ゆうめい
1912年)まで、いろいろな時代の人が出てきて、とても華やかです。織田信長や紫式部など日本の歴史で有名な

ひと で ふく どうぐ れきし くわ しら つく じだい い きぶん
人たちも出てきます。服や道具は歴史を詳しく調べて作っていて、その時代に行ったような気分になることができます

じだいまつり きょうと れきし ぶんか あらた し つぎ じだい つた たいせつ やくわり きょうと でんどう
す。時代祭は、京都の歴史と文化を改めて知り、次の時代へ伝える大切な役割があります。また、京都の伝統

こうげい そ もの わざ まも たいせつ まつ
工芸や染め物の技を守るためにもとても大切なお祭りです。

おだのぶなが せいき だいはう たたか りーだー
【織田信長】16世紀を代表する戦いのリーダー。

むらさきしきぶ へいあんじだい げんじものがたり ゆうめい はなし か おんな ひと
【紫式部】平安時代に「源氏物語」という有名なお話を書いた女の人。

でんどうこうげい むかし にほん つく とくべつ わざ つく てつく
【伝統工芸】昔から日本で作られてきた、特別な技を使った手作りのもの。



むらさきしきぶ
紫式部

おだのぶなが
織田信長

とり いち にほん かくち やまとたけるのみこと かみさま おおとりじんじゃ まいとし がつ とり ひ おこ うん よ
「酉の市」は日本各地の日本武尊を神様とする 鷲神社で毎年11月の酉の日に行なわれます。「運が良くなり

しょうばい ねが おおさか おおとりじんじゃ はじ え どじだい
ますように」「商売がうまくいきますように」とお願いします。大阪の大鳥神社から始まりましたが、江戸時代から

え ど いま とうきょう しゅうへん ちいき も あ えんぎくまで ゆうめい とうきょうあさくさ とり いち
江戸(今の東京)周辺の地域で盛り上がりました。縁起熊手がとても有名な東京浅草の酉の市は、「おとりさま」と

よ した
呼ばれて、親しまれています。

やまとたけるのみこと むかし にほん つよ ゆうき おうじ てき くに まも ひと
【日本武尊】昔の日本で、強くて勇気のある王子。たくさんの敵をたおして国を守った人。

とり ひ むかし か れ ん だ ー どうぶつ あらわ とり ひ
【酉の日】昔のカレンダーは12の動物で表していて、「酉」にあたる日のこと。

えんぎくまで まつ う かざ くまで かね あつ どうぐ
【縁起熊手】お祭りで売られている飾りのついた熊手のことで、しあわせやお金を集める道具とされている。



えんぎくまで
縁起熊手



じんじゃ
神社

じぎょうすいしんがかり 事業推進係からのお知らせ

ぶんかこうりゅう じょうほう こ な りょう <文化交流ひろば情報コーナーをご利用ください>

にほん ごがくしゅう じょうほう がいこくじん せいかつじょうほう たげんご ていきょう
日本語学習の情報や外国人のための生活情報などを多言語により提供します。

ばしょ ねりま くひかり おか
【場所】 練馬区 光が丘 3-1-1

でんわ
【電話】 03-3975-1252

かいせつにちじ へいじつ ごぜん じ ごご じ ど にち しゅく ごご じ じ
【開設日時】 平日（午前10時～午後1時）、土・日・祝（午後1時～4時）

ねんまつねんし ぶんかこうりゅう きゅうかんび のぞ
※年末年始など「文化交流ひろば」休館日を除く

たいおうげんご えいご か もく ど ちゅうごくご すい きん にち かんこくご げつ
【対応言語】 英語（火・木・土）、中国語（水・金・日）、韓国語（月）

た げんご と あ
※その他の言語はお問い合わせください。

がいこくごそうだんまどぐち りょう <外国語相談窓口をご利用ください>

ちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり えいご ちゅうごくご かんこくご たがろぐご にほんご そうだん
地域振興課事業推進係では、英語・中国語・韓国語・タガログ語・日本語でいろいろな相談ができます。
でんわ そうだん う つ
す。電話での相談も受け付けます。

ばしょ ちいきしんこうか くやくしよほんちょうしや かい ねりまくとよたまきた
【場所】 地域振興課（区役所本庁舎9階） 練馬区豊玉北 6-12-1

でんわ
【電話】 03-5984-4333

かいせつにちじ へいじつ ごご じ じ
【開設日時】 平日（午後1時～5時）

たいおうげんご えいご げつ きん ちゅうごくご げつ きん かんこくご きん たがろぐご げつ
【対応言語】 英語：月～金、中国語：月～金、韓国語：金、タガログ語：月

た げんご と あ
※その他の言語はお問い合わせください。

にほんじん がいこくじん こうりゅう いべんと かいさい くわ <日本人と外国人が交流できるイベントなどを開催しています。詳しくはこちら>

くこうしき
【区公式HP】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

こーど
【QRコード】

ねりま ちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり
練馬区地域振興課事業推進係
〒176-8501

ねりま くとよたまきた
練馬区豊玉北 6-12-1

ねりま くとよたまきた
練馬区役所本庁舎9階

でんわ
電話 03（5984）4333

e-mail: CHIIKI17@city.nerima.tokyo.jp

へんしゅう ぶんかこうりゅう
編集：文化交流ひろば
ひかり おか
（光が丘 3-1-1）

たげんご じょうほうしえんいん
多言語情報支援員

たかはら すずむ えいごたんとう
高原 進（英語担当）

さとう ゆきえ ちゅうごくごたんとう
佐藤 雪恵（中国語担当）

きん みんひ かんこくごたんとう
金 民熙（韓国語担当）